

私は一昨日某君と話して居ると、たま／＼不用意に憤怒の言を發したが、幸ひにも君が側に居つて私 替り極力辯明してくれたので双方が仲を悪くせず済んだ。今は私も心が落ちついたので、とつくりと考へて見ると、君の考への確に致密であるのを知つた。もしもあの時に思ふまゝ感情に馳せたなら事の破裂して後には又どんな事をしても取り戻すことは出来ないのだ。よし取り戻したにしろ如何しても痕跡が残る。古人も小さな事を忍耐せぬと大謀を亂すと言ふて居るが、私はこの語に感服して居ります。尚ほ又君の考の周密なものにも敬服します。

〔註解〕たま／＼不用意には偶然不慎、腹の立つやなう語を發したは說了幾句憤怒的話か生氣的話。側に在るは在傍邊兒。極力辯明して

呉れるは極力解釋か聲明、双方が傷つかなかつたは雙方不曾傷了和氣。氣が落ちついたは心平了氣和了、とつくりと考へるは細々兒推想一番。確に致密であるは確是周密、思ふまゝに感情に駆せるは一味鬧脾氣。事が破裂するは那事情決裂、又如何なる方法があるは還有甚麼法子。取り回すことが出きやうかは那兒可以挽救呢。どうしても痕跡が残るは總是着了痕迹了。小事を忍耐せねば大謀を破るは小不忍則亂大謀。この句に感服するは佩服這句話。君の考の周密に敬服するは佩服爾的思想周密。

(譯文)

謝說和

我前天同某君談話、偶然不慎說了幾句憤怒的話、幸而爾在傍邊兒替我極力解釋、雙方不曾傷了和氣。現在我心平了氣和了、細々兒推想一番、覺

得備的思想確是周密。倘然那時候一味鬧脾氣等到事情決裂了還有甚麼法子那兒能挽救呢。就使能挽救總是着了痕跡了。古人說小不忍則亂大謀我佩服這句話還佩服備的思想周密哪。

第二十五章 教育方針

私は今貴方の教授の成績を知つた。私には八歳の小供があるが性質が大變に荒く、學問は覺えが悪い。私は眞統にあれを感化する方法がなかつた。所が貴方の學校へ入れてから、貴方の教へを受け、前に較べて各種の學課がずつと進んで來た。即ち品性の方も段々と改められて行つた。これで貴方の監督方が宜しきを得て居つて、眞に良教育家として恥しからぬ事が分る。將來小供が段々好くなつて行くなら

ば皆貴方の熱心の賜物であつて、私は非常に有難く思ふ次第であります。

〔註解〕教授の成績を知つたは知道備辦學的成績了。性格が荒いは性格非常暴躁。學問は覺がわるいは讀書非常頑鈍。彼を感化す可き方法がないは沒有法子可以感化他。貴方の學校に入つてからは進了備的學堂以後、進了の代りに入了でもよい。貴方の教を受けは蒙憚多々教導。いろ／＼の學課は各樣兒的功課。前に較べて進んで來たは比從前進歩了。品性の方もは品性方面。段々と改められたは漸々兒改好了。監督方が宜しきを得るは監督有方、或は督率有方。良教育家として恥しくないは不愧爲一個好教育家。段々よくなればは若能愛好向上。熱心の賜物は熱心所賜的。有難く思ふは感激得很哪。

譯文)

辦學有方

我現在方始知道爾辦學的成績了。我有一個八歲的小兒，他是性格非常暴躁，讀書非常頑鈍，我真沒有法子可以感化他。但是自從進了爾的學堂以後，蒙爾多々教導，各樣兒功課已經比從前進步了。就是品性方面也覺得漸々兒改好了。可看見爾監督有方，真不愧爲一箇好教育家。將來我兒若能愛好向上，都出爾熱心所賜，我實在感激得很哪。

第二十六章 藥の効能

小供が生れつき身體が弱く、貧血症に罹つて居る。前に名醫を呼んで百方治癒に手を盡したが一向に効能がない。その後親戚の某君が貴方の所の某補血劑が大變に効能があるといふことを談したので、

情叙と事叙

ぐに人に頼んで買つて飲んだ。一ヶ月たゝぬ内に急に顔色が活々として、食慾が進んで來た。貴方の所の藥の功効の卓越して居つて、名に偽りなきことを知ることが出来る。將來の御營業の發達は豫めトし得る事でありませう。聊か感謝の言葉を申し述べる次第であります。「註解」生れつき身體が弱いは天性身體不結實か身體素弱、貧血症にかゝつたは致患血枯的病症。名醫を招くは延請名醫。百方手を盡すは百端調治。一向効能がないは到底沒有効能か一向沒有効能。私の親戚は舍親。貴方のこの某補血藥は貴處某種補血藥。大層効能があるは很有効能。人に頼んで買つて飲むは托人買吃か購服。一ヶ月たゝぬ内は不滿一月か不過一個月。急に顔色が活々するは居然面容轉潤。食慾が進むは胃口漸開。効能の卓越せるは功效卓然。名に

偽りなきは不虛傳。豫めトする事が出来るは可以豫ト。聊か感謝の意を表示するは聊表我感謝的意思。

(譯文)

藥品効驗

小兒天性身體不結實致患血枯的病症。以前延請有名的太夫百端調治到底沒有効驗。後來舍親某君談及貴處某種補血藥很有効驗就託人買吃。不滿一月居然面容轉潤胃口漸開。可見貴處的藥功效卓然名不虛傳。將來營業的發達可以豫ト。聊表我感謝的意思來了。

第二十七章 資本借入

私の運は眞統によくない。開いた雜貨店がやつと僅の利益があると突然主任が私に尻ぬぐひをさせる仕末で、多くの債鬼に攻められて

れて、今は一時を彌縫せなければならなくなつた。今の私は赤貧洗ふ如くで、どうして維持して行くことが出きやうか。とやかくと考へて貴方に若干圓をお借りして、私の窮況を救つて戴かうと考へついた。もしも貴方も困難ならば、どうか私に代つて方法を付けて戴きたい。貴方は信用もおありだし交友も多いことであるから、私の如き個立で人の助けを求めることの容易でない者とは比較にならない。どうかお力添へをお願いします。

〔註解〕運がよくないは運氣不好。開いた雜貨店は所開的雜貨店。やつと僅かの利益があるは剛々有些利息。尻ぬぐひをさせるは掉我槍花。債鬼が集まるは債主齊集。一時彌縫せざるを得ないは不得不彌縫過去。赤貧洗ふごとしは一貧如洗。如何しても維持して行くこと

が出来やうは怎麼能維持下去呢。とやかくと考へるは左思右想。若干圓を借りるは借若干圓。私の窮況を救ふは救済我的窮況。もしも貴方が困難ならばは若是爾也困難。代つて方法を付けて下さいは替我爲設法。交友も多いは交遊很多。私のやうな個立者は我落々難合。人の助けを求めると容易でないは不容易求人家幫助。比較にならないは不比。どうぞお力添へを願ふは請憊努力設法。

(譯文)

借本

我的運氣真不好。所開的雜貨店剛々有些利息忽然經理先生掉我槍花。使得我債主齊集現在不得不彌縫過去。我「一貧如洗」怎麼能維持下去呢。左思右想。我打算向爾告借若干圓救濟我的窮況。若是爾也困難請爾替我爲設法罷。因爲爾信用很好交遊很多不比我落々難合、不容

易求人家幫助。請爾努力設法罷。

第二十八章 借金延期

昨日お見えになつて、古い借金のお催促をうけ、誠にお恥しい次第でした。あの金は久しく借りつ放しで、お返しも致さないで、實際申し譯なく痛み入ります。唯私の今の困難の状態は貴方もよく御存知ですから、くり返す必要もありません。眞誠に思ふ通りに行かぬので決して故意に延引したのではありません。貴方は私の知己親友であつて、既に貴方の御厚情でお貸し下さつたものですから、どうか私の窮状をお察し戴きたい。私の手元が少しよくなれば、必ず全部御返済致します。どうぞ不惡御覺召して下さい。

〔註釋〕古い借金は舊欠債。催促は催逼か催索。お恥しい次第は很爲漸愧。あの金は那項款子か那項欠款。久しく借りつ放しは拖欠已久。お返ししないは沒有歸還。痛み入りますは抱愧得很。困難の状態は困難的情形。貴方も良く御存知であるは爾也一々知道。くり返す必要がないは不要再説か無庸再説。思ふやうにならぬは力不從心。決して故意に延引したのでないは並非故意延緩。知己親友は知心好友。貴方の御厚情を受けは承爾情分。御諒察下さいは原諒我的窮迫。手元がよくなるは幾分融通がつけばと言ふことで等着我手頭活動。必ず全部お返しするは一定如數奉還。どうぞ不悪お覺召して下さいは請爾寬恕我罷。

(譯文)

緩還欠賬

昨天慫恿了並且催逼舊欠債、很爲慚愧哪。那項款子拖欠已久、沒有歸還、實在抱愧得很。但是我現在困難的情形、爾也一々知道、不要再説、確是「力不從心」並非故意延緩。爾是我的知心好友、既然承爾情分、慨然借我還盼望爾原諒我的窮迫。等着我手頭活動一點兒、一定如數奉還。請爾寬恕我罷。

第二十九章 道具借用

この數日仕事が大變に忙しいので、お伺ひすることも出來ず、甚だもどかしく思つて居ります。今度息子が結婚をするので、全て豫め用意しなくてはならないが、そのやうな品物は普通用ゐる事が無いし、當地には又出き合の品が少なくて、購ふと思ふても出來ないので、己を得ず知

人の所から暫く借用したいのです。貴方の所には餘分におありでせうか。もし私にお借し下さるならば人を遣りますからお渡し下さい。式が終ればすぐにお返し致します。期日迄に早く準備したいと思ひます。尚色々御頼みしたい事もありますが、今度お目にかゝつた時にお話致しませう。

〔註解〕仕事が大變に忙しいは、辦事很忙か事務很忙。お伺ひすること、も出来ないは、不能到廳府上談々。もどかしく思ふは、很覺昏悶。結婚は成親。前以て準備しなければならぬは、一切均須預先布置か一切先要豫備。普通用ゆるのが少いは、平常少用。出さ合ひの物が少いは、少現成的東西。買ほうと思ふても出来ないは、願意買也不能。知人の所からは向知交地方兒、暫く借用するは、暫爲借用。貴方の所には餘

分におありでせうかは、貴處有多餘不是。もし御借し下さることを承諾して戴けば、若肯借我一用。人を遣りますは、打發人去。揃へて渡して下さいは、檢交他罷。式が終つてからは、お芽出たが濟んでからと云々、ことで一俟紅事完畢か、等着喜事完了。不幸のことは、白事。期日までに準備したいと思ふは、届期以前想要準備。尚色々とお頼みしたいことがあるは、并且有許多瑣事奉託。今度お目にかゝつた時は、等到下回見面。

(譯文)

借用傢俱

這幾天辦事很忙，不能到廳府上談々去，很覺昏悶。因為現在小兒成親一切均須預先布置，所有器具實在平常少用。這地方兒又少現成的東西，願意買也不能。不得已，向知交地方兒暫爲借用，貴處有多餘不是。若肯

借我一用、我打發人去就檢交他罷。一俟紅事完畢就送還、屆期以前想要豫備。并且有許多瑣事奉託、等到下回見面時候兒再談罷。

第三十章 田地抵當

私は近來萬事頗る都合が悪く、商業には失敗し、經濟の困難が既に極點に達して居る。現在某處の田地の地券——それは私の名義であるから少しもイザコザはない——を抵當として貴方から若干圓お借りしたいのです。私は此の營業で再び旗をあげれば或は發展し得られるし。貴方の方もこの抵當の證書があるから、又少しも御損を掛けるやうの事はない譯です。私の手元が幾分餘裕がつけば、すぐに其金を用意して回贖を致します。御承諾下さるでせうか。

〔註解〕萬事都合が悪いは凡事不順手。失敗したは遭失敗了。經濟が困難が既に極點に達したは經濟困難已經達到極點。田地の地券は田産契據。私の名義であるは是我個人名下。決して少しもゴタクサがないは並沒有絲毫糾葛的。抵當として若干圓お借りしたいは抵借若干圓。私に於てはは在我呢。再び旗をあげるは重振旗鼓。この抵當證書があるは有這抵押契據。御損をかけるやうなことはないは不至銀錢落空。手元が少しく餘裕がつけばは等我手頭稍々活動。其金を用意して回贖するは備價來贖。御承諾下さるでせうかは肯答應我麼。

(譯文)

抵押田産

我近來凡事不順手、營業都遭失敗、經濟困難已經達到極點。現在想把某地方田産契據、是我個人名下、並沒有絲毫糾葛的、向爾處抵借若干圓。

在我呢、可以藉這營業、重振旗鼓、或者可以發達。在備呢、有這抵押契據、也不至銀錢落空。等我手頭稍々活動、就當備價來贖。肯答應我麼。

第三十一章 家屋抵當

一昨日お遇ひしてお頼みした借錢のことは御承諾を得て大變に感謝して居ます。唯私の近來の財政は益々困難で、あの金もすぐに入用なのであります。古語にも焼眉の急と申しますが、私は丁度斯んな状態であります。そこで貴方に直ぐ何とか方法を考へて戴き、私の信用を維持することの出来るやう望んで居ります。もしも貴方が其のことを尙ほ鄭重になさるやうならば、私が家屋の證文を抵當としておいて、御安心の行くやうに致します。日頃御世話になつて居ります

が、此の事は全く貴方のお力によらなくてはなりません。どうぞお拒み下さらぬやうに願ひます。
〔註解〕お遇ひしてお頼みした借錢のことは、見面托僱借款一事。御快諾を得たは、得蒙允許。近來の財政が益々困難であるは、近來財政越發困難來。あの金は、那個款項。すぐに入用は、立等應用。古語に言ふは、古語說。眉毛に火のつく程に、差し迫つたことは、火焼眉毛急在眼前。丁度このやうな状態であるは、正有這麼様情形。すぐに方法を設けるは、趕緊設法子。私の信用を維持するは、保我信用。その事を鄭重にするは、要鄭重那事。家屋の證文を抵當として、把房屋契據作抵。御安心の行くやうにするは、以示穩妥か妥當。常にお世話になるは、素蒙照顧か蒙僉照顧。全て貴方のお力によるは、全要仰仗大力了。どうぞ

お●拒●み●下●さ●ら●ぬ●や●う●に●願●ひ●ま●す●は●千●萬●不●要●拒●絶●我●

(譯文)

抵押房屋

前天見面托僱借款一事得蒙允許十分感激。但是我近來財政越發困難來。這個款項立等應用古語說「火燒眉毛急在眼前」我正有這麼情形。所以很盼望爾趕緊設法子保我信用。若是爾鄭重那事那麼我願意把房子契據作抵押以示妥當。素蒙照顧這事全要仰仗大力了。千萬不要拒絕我。

第三十二章 株券抵當

もう年末が近くなつた私方の經濟問題は甚しく困窮になつて來た。あちらもこちら都合が悪しく、幾ら工面して見ても方法が付かぬ。

差し迫つて仕方なく満鐵の株券を暫く貴方の所か或は餘所でもよいが若干圓の抵當として各種の借財にあて、此の年の瀬を無事に過したいと思ふ。この株券は若干の値段で今六掛にして抵當にし、期限を半年にして戴きたいのである。満鐵會社は半官半私で信用は素より著しいものであるから、貴方は御承引下さることと思ふ。私は急に入用です。直ぐに御快諾をなして下さい。

〔註解〕年末が近いは年底近いか快到年底。甚だ困窮は十分窮迫。あちらもこちら都合が悪しくは左支右絀。幾ら工面しても方法が付かぬは竟是一籌也不能展、沒有張羅。差し迫つて仕方ないは迫不得已。會社の株券は公司的股單か股票。若干圓の抵當とするは抵押若干圓。これを各種の借財に充當するは藉此應當交付各樣兒欠賑か債欠。無

事●に●年●の●瀬●を●越●す●は●安●過●年●底●。●值●段●が●若●干●圓●で●あ●る●は●值●價●若●干●。●六●掛●で●抵●當●と●す●る●の●に●過●ぎ●な●い●は●不●過●六●折●作●抵●。●期●限●は●半●年●。●は●期●限●半●年●。●半●官●半●私●は●官●督●商●辦●。●信●用●が●素●よ●り●著●し●い●は●信●用●平●素●顯●著●。●私●は●す●ぐ●に●必●要●で●あ●る●は●我●正●等●着●要●用●咧●。●す●ぐ●に●御●承●諾●下●さ●い●は●就●答●應●罷●。

(譯文)

抵押股票

現在年底近了，經濟問題是十分窮迫。左支右絀，竟是一籌也不能展也沒有張羅。迫不得已，想把南滿鐵路股份有限公司的股單暫且貴處或是替我向別處抵押若干圓，藉此應當交付各項欠賬，安過年底就是了。這樣股票是值價若干，現在不過六折作抵，期限半年。想南滿鐵路公司是官督商辦，信用素日顯著，備總可以滿意的。因為我正等着要用咧，所以盼

望備就答應哩。

第三十三章 見込のない抵當

貴方が私にお頼みになつたあの擔保借款は私は既に某々等と相談をした。あの人等に出きる丈の承諾を願つたが、いかんせん、世間が亂れて不作と來て居るし、經濟界は緊縮して居るので、彼等が持つて居る現金は極く僅かなもので、私が極力努めて見たけれども終に効がなかつた。骨折り甲斐がなく、貴方のお頼みに應ずることが出來ないのは眞統にどうしてよいか分らない。貴方がもし外の處で方法がつかないならば、どうか直ぐに相談して戴きたい。私も今又別に顧客の方を求めて話しては居るが、唯これも十分の見込みは立たない。

「註解」擔保借款は抵押那種款項。彼と相談をしたは和某々等妥爲接洽。彼等の出きる丈の承諾を乞ふたは請他們量力答應。いかんせんは無奈。世間が亂れて不作は世亂年荒。緊縮は奇緊。持つて居る現金は所有現款。又極めて少ないは也極寥寥。極力努めたけれどもは雖盡心竭力。終に無効となつたは歸齊無効か到底無効。骨折り甲斐がないは効力不周。貴方のお頼みに應ずることが出きないは無以應爾的請求。眞統に如何とも出來ないは正是無可奈何呢。外の處で方法がつくならばは若有別處可以設法。早く行つて相談してくれば快去商量。別に顧客の人を求めは另外求主顧。十分の見込みがないは沒有十分把握咧。

(譯文)

抵押不成

爾托我抵押那種款項、我已經和某々等妥爲接洽。請他們量力答應、無奈世亂年荒、經濟奇緊、他們所有現款也極寥寥、我雖盡心竭力、歸齊無効、効力不周、無以應爾的請求、正是無可奈何呢。爾若有別處可以設法、盼望快去商量罷。我現在另外求主顧、同他談々、但是也沒有十分的把握咧。

第二十四章 餞別

日本と外國と貿易してから、外國人は着々と勝利を占め、支那に於ても各所に失敗して居る。そこで一般の事情の分らぬ人は皆また貿易が良くないことを罵つて居るが、其の實、自分がそのやうな才幹がないのである。君は商業場裡にあつて長い經驗があるし、その上に新智識にも富んで居られる。今度外國へ踏み出して貿易せられるのは、個人

として絶大の利益を獲得する許りでなく、尙本國に替つて競争するこ
とは無上の光榮である。明日午後三時、某處に於て聊か粗酒を差上げ
たいと思ひますからどうか其の時刻に御光臨を戴きたい。

〔註解〕日本と外國と貿易してからは日本和外國貿易以來、外人は着
々と勝ちを占めは外人着々占勝。支那に於ても各所に失敗しては
在中國處々也失敗。そこでは於是一般の事情の分らぬ人は一般不明
白事理的人。皆また貿易が良くないのを罵るは大家還罵着通商的不
好。その實はと云ふのは其實呢。そのやうな才幹がない丈であるは
沒有這麼樣才幹就是了。商場裏に久しい經驗があるは商場裏頭久
經閱歷。その上に新智識に富んで居るは而且富有新智識。外國へ行
つて貿易するは出外貿易。個人として多くの利益を得るのみでない

は不僅個人能獲得絶大の利息。國に代つて競走するは替本國競争。
此の上ない光榮は無上の榮光。午後三時は下午三點鐘。粗酒を差上
げたいは略備小酌。其時刻に御光來下さいは到時惠臨。

(譯文)

饒行

日本和外國貿易以來、因爲外人着々占勝、在中國處々也失敗了。於是
一般不明白事理的人是大家還罵着通商の不好、其實呢、自己沒有這麼樣
才幹就是了。爾在商場裏頭久經閱歷而且富有新智識、此次出外貿易、不
僅個人能獲得絶大的利息、並且能替本國競争無上の榮光、明天下午三
點鐘、打算在某處略備小酌、盼望爾到時候兒惠臨。

第二十五章 謝禮

此度某が卒然私に迷惑を掛け、誠に夢にも想はなかつた事である。彼は策略に富み、又害毒する其方法が非道であるので、皆な恐れてしまつた。況んや私は弱くして、役に立たない者であるから。幸ひにも貴方が穩やかでないのを見て、調停をして下さつたので、私は漸く彼の畏にかゝらず、甚しい損を被らずと濟んだ。この御厚情は私の深く感謝して忘れざるところであります。お恥しく、私は別に貴方に差上げる程のものがないことを残念に思ひますが、銀若干圓をお贈り致します。ほんの寸志に過ぎません。どうか御辭退なさらぬやうに願ひます。

〔註解〕今度は這回。平地に波亂を起すは平白地來惹我。夢にも想はなかつたことである。は正是睡覺裡頭也沒有想到的。策略に富むは刀鑽。非道であるは惡毒。皆な恐れてしまつて誰一人として恐れない。

ものはないは沒有一個人不害怕的か或は不懼怕的。況んやは何況か。況且、弱く役に立たないは疲弱無用的人哪か或は懦弱沒有用處的人。身體の弱いのが軟弱勢の弱いのが疲弱。幸ひにもは好在。穩やかでないのを見ては爾路看見不平。調停下さるは説和か調停。彼の畏にかゝるは落他的圈套。大きい損害は大吃其虧。御厚情は高情。深く感謝して忘れないは感謝忘不了のか深感不忘的。別段貴方に差上げるものが無いのを残念に思ふは很慚愧沒有東西可以孝敬。銀若干圓をお贈りするは奉上銀洋若干圓。ほんの寸志でありますは不過小意思か不過聊盡寸心。どうぞ御辭退下さるなは千萬不要推却。

(譯文)

謝儀

這回某々平白地來惹我、正是睡覺裡頭也沒有想到。他又刀鑽又惡毒、

沒有一個人不害怕的、況且我是疲弱沒有用處的人呢。好在備路。看見不平從中調停、我纔不到落他的圈套大吃其虧。這麼高情、我是感謝忘不了的。我很慚愧沒有東西可以孝敬備、奉上銀洋若干圓、不過小意思、盼望備千萬不要推。

第三十六章 新婦へ贈物

貴方のお嬢さんは既にお嫁入りの日が定つたさうですね。私はおの方は大變伶俐で、綺麗な御婦人であるのを存じて居ります。又貴方のお婿さんは立派な情深い方であるのを存じて居ります。一對の佳人を眼の前に置かれて、貴方が御覧になつて、どのやうにか手の舞足の踏み所を知らぬ嬉しさ、花の開いたやうな長閑かな心持がなされる事

御座いませう。唯今某君がお宅へ行くおついでに特に反物二反と鏡臺二箇とをお贈り致します。どうぞお嬢様にお收め下さるやうにお傳へ下さい。御結婚の時には又お伺ひして、お喜びの席末を汚します。

〔註解〕お嬢さんは小姐、結婚の日取が定つたは有出嫁の日期了、大變伶俐であるは最聰明か賢慧、綺麗な婦人は美麗的好女子か好看的女子。お婿さんは新婚、立派なは高雅、情深い男子は多情的爺們か好男兒、この多情は日本で言ふ多情と云ふのと違ふ、さう言ふ場合には水性とか花心とか言ふ、一對の佳人は一對佳人、面前に置くは放在面前、手の舞ひ足の踏みやうも知らない嬉しさ——喜の容貌に現るゝことは眉飛色舞、心の花が開き、る如き長閑な氣分は心花朵々開。

お宅へ行くついでには到府上の便か順便。お贈りするは奉上。反物は衣料。お收め下さいは收下。自分で喜びを述べに行くは要自己去道賀。席末を汚すは叨擾喜酒。叨擾々々は又たお邪魔致しましたと言ふ餘所へ行つての歸りの暇乞ひにも用ふる詞である。

(譯文)

送奩具

聽說備的小姐已經有出嫁的日期了。我曉得他是一個最聰明最美麗的好女子。我曉得備的新婿是一個最高雅最多情的爺們哪。真是一對佳人放在面前。備老看見不知道怎麼樣的眉飛色舞。心花朵朵開呢。現在托某人到府上的便。特意奉上衣料兩件和鏡臺兩座。請備轉交新小姐收下。屆時還要自己去道賀叨擾喜酒。

第三十七章 失業

君は非常に注意深く、勤勉家でありませんか。君の主人も又平生は私に君の種々の長處を談して居りましたので、彼が大變に君を信任して居ることが知れます。こんどは意外な御災難でありました。全く他人の煽動をうけた影響から十年來、互に信用し合つて居つた御兩人が一旦手を切られたことは、君ほどのやうに不快であらうかと言ふことは申す迄もない、私も又大變腹が立つた。しかしつまらぬ人の口葉など氣に留めるには足らない。況んや貴方の様な性格と技量とがあれば、人の招聘しないことを心配することがありませうや。即ち貴方の主人にした所で、遠からずして心を翻して、君の受けた冤罪を知つて、

又再び貴方に御盡力をお願いするでせう。どうか暫く御辛棒なされることをお願いします。

〔註解〕大變に氣がつくは很小心。勤勉は勤勞か勤敏。主人は東家か東翁。色々の長處は各樣兒的長處。彼も貴方を信任してることが分るは可見他也很信任爾或は信用爾。意外な出來事は意外風波。全く他人に煽動された影響は全是受着傍人煽惑的影響。十年來互に信じ合つた賓主兩人は十年來很相得的老賓主。一旦にして急に手を切るは一旦忽然分手。申す迄もないは不要説。どのやうに不愉快は怎樣的不快。腹を立てたは抱着一股怒氣か生氣。つまらない人の口葉は悠々の口。氣にかけるに當らぬは不足介懐。性質は本性か天生。何人かい招聘せぬのを心配することがありませう。やは何愁沒有人來

請教。久しからずして心を翻すは不久心廻意轉。受けた所の冤罪は所受的委屈。或は所受的冤枉。再び御盡力を願ひに来るは要再來請爾幫助。暫く御辛棒下さいは暫且耐心等候着罷。

(譯文)

失業

爾不是很小心很勤勞的人麼。爾的東家也常々兒同我談及爾各樣兒的長處、可見他也很信任爾。這回意外風波。全是受着傍人煽惑的影響。以到十年來很相得的老賓主、一旦忽然分手、不要說爾怎樣的不快、我也很抱着一股怒氣。但是悠々之口不足介懐、況且以爾的本性、才幹、何愁沒有人來請教。就是爾家東翁不久心廻意轉、知道爾所受的委屈、也要重來請爾幫助、盼望爾暫且耐心等候着罷。

第三十八章 盜賊の被害

貴方の家は昨晚無頼の徒に兇器を携へて奥の間に這入られ、洗ひざらい、君の家の貯への物を搜出して、すつかり持つて行かれ、其損害高が五千圓を下らぬと聽きました。私は夫を聽いて君の爲めに手に冷汗を握つた。幸ひにも君の家の年寄も若い方にも何事もなかつたことは、又不幸中の幸ひであつたと思ふ。近來人民が金が無くなつて困るので、多くの盜賊が澤山出來て、少しく豊かな家は常に不良の徒の眼を惹くのである。私達はこのやうな盜賊横行の世の中に生れ逢はして夜も安らかに眠れない。こんな有様では眞統にどうしたなら好いであらうか。

〔註解〕無頼の徒のためには被無頼漢か無頼之徒。兇器を持つては拿着兇器か執兇器。奥の間に這入られは進到内房去か深入内室。洗ひざらひは傾筐倒篋。君の貯えて居る所のものは備家所藏の物件。探し出して空にされたは搜括一空。損害高は損失的數目。五千圓を下らずは不下五千餘圓。手に汗を握るは捏着一把汗。年寄りも年少者にも變りなくては老少平安無事か沒有甚麽事。不幸中の幸であると思ふは算不幸裏頭的大幸了。人民が金がなくなつて困るは民窮財盡。多くの盜賊が出來るは郡盜如毛。少しく豊かな家は稍微飽食暖衣的人家。不良の徒の眼を惹くは惹匪人的眼睛。盜賊横行の世に生れ合せては生逢着這麼盜賊横行的世界。夜も安らかに眠れぬは夜不安枕。どうしたか。好いのかは怎麼是好呢。

(譯文)

被 盜

備の家昨天晚上被無賴漢拿着兇器深進到內房去、傾筐倒篋、拿備家所藏的東西、搜括一空、損失的數目不下五千多圓。我聽見了、正爲備捏着一把汗。好在備家老少平安無事、也算不幸裡頭的大幸福了。近來民窮財盡、群盜如毛、稍々飽食暖衣的人家、常々兒惹匪人的眼目了。我們生逢着這麼盜賊橫行的世界「夜不安枕」這麼樣可怎麼是好呢。

第二十九章 被告となつて

久しくお眼に掛りませんでした。聞けば貴方は某事件の嫌疑をうけて、遂に官憲のために冤罪を蒙つて、五十餘日の長い間拘留せられたさうですね。幸ひにも十分な證人があつたので、貴方の心事も既に

明白になり。全てを發表されて、今は貴方のお身體も既に自由の身に立ち還られたのは、不幸中の幸ひであります。思ふに古今の名臣、良將、義士、仁人達は、何れも冤罪を受けないものは無い。貴方は道にはづれた横逆に對しては、別に御心配なさることはありません。貴方もしも御氣分が良ければ、どうか來てお話し下さい。

〔註解〕久しくお眼に掛りませんは、老没見了。某事件の嫌疑からは、因爲某事件嫌疑。官憲から冤罪をうけるは、被官廳冤屈。拘留せられるは、拘留か押。或は失了自由。五十餘日の長い間は、五十多天の長久。十分な證人があつては、有個人證充足。貴方の心事も既に明白になつたは、備の心事已經明々白々。全て發表されたは、盡行露布。身體が既に自由に戻つたは、身體已經恢復了自由。思ふには私思。冤罪を受け

ないものは、ないは、沒有受着冤屈的か無端受着冤屈的。道には、づれた、横逆は、節外旁生の横逆、心配するは、耿々心頭。もし御愉快の御氣分ならば、は、倘然有高興了。

(譯文)

被 訟

老沒見了。聽說備因為某事件嫌疑、竟被官廳冤屈、失了自由、有五十多天的長久。好在有個人證充足、備的心事是已經明々白白、盡行露布、現在備身體已經恢復了自由、總算不幸裡頭的幸事。我想古今來名臣、良將、義士、仁人等、沒有受着冤屈的。勸備不要把那節外旁生的横逆、耿々心頭、備倘然有高興、還盼望備過來談々。

第四十章 子を喪ふ

私と貴方とは、吳頭楚尾で大變に離れて居るので、親しくお談を承る事が出さない。貴方のあの滔々たる辯舌を思ふと、大層なつかしく思ひます。計らず貴方のお手紙に接して、御子息さんが二十歳で遽に夭折されたことを承知しました。頭を搔いて、天に訴ふる其の恨みは如何に苦しきことで御座りませう。唯、死生は天命である。人生如何ともすることが出さない。幸ひに貴方のお歳はまだ若い。尙幾人も、の立派なお兒様を設けられない御心配はないことと思ふ。どうぞ、父子の情を抑へて、氣を大きくお持ちになつて、餘りにお悲しみなさらぬやうに願ひます。

〔註解〕吳頭楚尾は遠く離れてることの形容であつて、吳國に頭、楚國に尾があると云ふことで張吳頭楚尾と云つてもいゝ。大變離れて居るは路隔很遠。親しくお談を承ることが出来ないは不能親聆教訓。滔々（たうたう）の辯舌は滔々滾々の談鋒。なつかしいは懷念。はからずもは敢情か想不到。或は誰想。驚いて知つたは驚悉か知道受驚悉。驚悉は話には使用しないが口語文などには差支へない。二十歳は二十歳か或は二十妙齡。遂に夭折するは遽爾摧折。頭を搔いて天に訴ふは無情を天に訴るので搔首問青天。死生は天命であるは死生有命。人生如何とも出きないは人生無可如何の事か或は人生沒有怎麼辦法。年がまだ若いは年紀還輕。幾人も子供の出きないと云ふ心配はないは不要憂愁不再生幾位寧馨兒。父子の情を仰へは抑父子恩情。お氣を大きく

持たれては抱着曠達の見識。餘り悲しみなさらぬやうには不要過分悲傷纒好。

(譯文)

喪子

我同爾吳頭楚尾、路隔很遠、以至不能親聆教訓。想着爾那滔々滾々の談鋒、正令人十分懷念。誰想接到爾的信、驚悉令郎以二十妙齡忽然摧折搔首問青天。正恨他爲甚麼如此苦痛呢。但是死生有命、最是人生無可如何的事。好在爾年紀還輕、不要憂愁不再生幾位寧馨兒。現在我盼望爾稍抑父子（ちうし）的恩情、抱着曠達（くわうたつ）の見識、不要過分悲傷纒好。

第四十一章 誕生祝ひの禮

私の年は既に四十餘歳になりました。一昨日家内が子供を生んだ

ので嬉しくて耐りません。併し私は教育がなくて、子供の手本となる事が出きない、將來社界上の穀虫となることを免れないであらうと思ふと、却つて立つても居ても不安です。昨日は態々お遣を以てお祝ひ下さいまして眞統にお恥しい。珍しいものを幾種も賜つて有難く頂戴致しました。明日の午後お話しにお出で下さることが出来ればお待ちして居ります。

〔註解〕誕生祝ひの禮は謝賀生子。家内が急に子を生んだは我妻忽生一子。或は忽生兒子。嬉しくて仕方がないは自然喜歡得很哪。教育がないは沒有良好的教育。子供の手本となるは給兒子做箇模範。社界上の穀潰しとなるは做社會上の蠹蟲。立つても居ても不安であるは坐立不安了。遣を以て祝つて呉れるは打發人來賀我。全くお恥し

いは正是慚愧咧。珍らしいものを幾種も賜りは蒙賜稀罕的東西幾種。有難く頂戴するは謹領謝々。お待ちしてゐるは恭候來儻か很爲歡迎(大いに歡迎する)と云つてもいい。

(譯文)

謝賀生子

我年紀已經四十多歲了。前天我妻忽生兒子自然歡喜得很。但是想到我沒有良好的教育、可以給兒子做個模範、將來不免要做社會上的蠹虫却又坐立不安了。昨天爾特意打發人來賀我。正是慚愧咧。蒙賜稀罕的東西幾種、謹領謝々。明天午後、爾能過來談々、很爲歡迎哪。

第四十二章 新聞社創設

現今私共の地方の仕事は日に増し衰微に向つて行く。外來の官吏

と内を茶毒する此土地の紳士とが勝手に好悪な事をし、只だ私利を謀つて許り居るからであります。であるから私共小民は非常な苦しみで、眞統に遺憾な事と思ふ。官吏や紳士が思ふ通り勝手な事をなすのを推量すると、正當の言論機關がなく、彼等を監督糾弾するものゝ無いのに原因する。そこで私共若干人で、某報を創刊し、良心に訴へてかの官吏や紳商の指導者とならうと思ふ。唯經費がまだ足りないやうに思ふので、君は私達と同志の方であるから、どうか出来る丈け株に應じて戴きたい。官廳からの補助と、外からの義捐寄附は一切拒絶しました。つまり言語上に徹底的の自由を求めるためであります。

〔註解〕私共地方の仕事は地方上の事務。日に増し衰微に向ふは一天不如一天了。外來の官吏は外來的官吏、内を茶毒する紳士は内蠱的紳

士。勝手に悪事許りするは狼狽爲奸。私利を謀つて居るは做那自私。自利的事。下級民は非常に苦しむは小百姓苦到十二分了。眞統に遺憾に想ふは想來眞是可恨。推量するは揣摩か估量。思ふ通り勝手な眞似をするは竟敢胡作非爲。正當の言論機關がないは沒有正當言論機關。監督糾弾するは督察糾正的。若干人を集めては集合若干人。某報を創設するは創辦某報。良心に従つては憑着良心。官吏と紳士の指者導となるは做那官和紳的指導者。足りないやうに想ふは覺着不敷か不足。志を同じゆうするは志同道合的。出きる丈け株に應ずるは量力入股。外界の寄附は外界捐款。一切拒絶したは一概拒絶。言論上に徹底的の自由を求めるは求言論上徹底的の自由。

(譯文)

開辦報館

現在我們地方上的事務，一天不如一天了。因為外來的官吏和內蠹的紳士，狠狼奸，做那自私自利的事。所以我們小百姓苦到十二分了。想來真是可恨。揣摩官吏和紳士竟敢胡作非為。因為沒有正當言論機關督察糾正的緣故。所以我們集合若干人創辦某報，憑着良心，做那官吏和紳士的指導者。但是經費方面還覺着不敷，倘是我們志同道合的人，請備量力入股。至於官廳補助，外界捐款，我們一概拒絕，以求言論上徹底的自由。

第四十三章 道路修築

道路の建築には外國人は十分に注意を拂ふ。道路の綺麗と云ふことは公衆の衛生上に大變に關係がある。どうして荒れるまゝに任し

て置けやう。私共地方の常に往來する某町は既に多年修繕をしない。いつも雨や雪の日になると泥がぐちやく／＼して自動車や人力車が走るのに困難だ。人さへ大變に歩き難い。今私は寄附金を募集して修繕しやうと思ふ。貴方は賛成して下さいますか。もし貴方が御同情下されば、その一切の進捗手續は貴方にも御相談致したいと思ひ、それが爲め態々お伺ひした次第です。

〔註解〕道路の建築は建築道路 外國人は十分に注意を拂ふは外國人は十分注重的。道路の綺麗は道路的清潔。公衆の衛生と大變に關係があるは和公衆衛 很有關係 荒るまゝに打ちすて置くことは出きないは正是不可任他「荒蕪不治」的 常に往來する某町は常々兒來往的某街。既に多年修築をしなかつたは已經許多年代沒有修築了。

い・つ・も・雨・雪・の・日・に・な・る・と・は・毎・逢・雨・雪・天・氣・泥・が・ぐ・ち・や・く・し・て・は・泥
滑・々・的・自・動・車・は・汽・車・人・す・ら・又・歩・き・難・い・は・連・人・也・很・難・走・私・は・寄
附・金・を・募・集・し・て・修・築・し・や・う・と・思・ふ・は・我・想・招・募・義・捐・修・築・も・し・御・同・情
下・さ・る・な・ら・は・若・是・爾・也・表・同・情・進・涉・手・續・は・進・行・手・續・御・相・談・し・た・い
と・思・ひ・は・要・同・爾・商・量・そ・れ・が・爲・め・は・爲・這・個・態・々・お・宅・へ・上・つ・た・は・特
意・望・看・爾・來・了・

(譯文)

修築道路

建築道路、外國人は十分注重的。因爲道路的清潔和公衆衛生很有關係、正是不可任他「荒蕪不治」的。我們地方兒常常兒來往的某街、已經許多年代沒有修築了。每逢雨雪天氣、泥滑々の汽車、洋車都難走、連人也很難走、現在我想招募義捐修築、不知道爾贊成麼。若是爾也表同情、那麼一

切進行手續、正要同爾商量、爲這個特意望看爾來了。

第四十四章 人夫募集

私は現今某會社の招聘をうけまして、支配人となつて、専ら開墾事業をやつて居ります。こちらは荒地が大變に多く、開耕されて居らない。いかにも利益を地に遺して居る譯で、大變に惜しい事ではありませんか。私が仕事を受け繼いでから、此方、極力歩を進めて居りますが、先づ順當に運んで居ります。現在人夫は多く使用してないから、幾らか増員しやうと思ふ。貴方の土地にも、し身體が丈夫で、性質の温和な、各種の道樂に染まないもので、應募したいと思ふ人があらば、どうか私に代つて相談の上、お寄越し下さい。給料は多く出しても、差支ありません。

其もどうか私に代つてお考の上にてお定め下さい。
 「註解」某会社の招聘を受けたは受了某公司的聘。支配人になつて居るは擔任經理一席。専ら開墾事業に従ふは專司墾荒事務。こちらは荒地が多いは這裏荒地很多。開耕されないは不去開闢。地面へ利益を捨て、置くのではないかは豈不是遺利於地。大層惜しいことは萬分可惜。仕事を受け繼いでからは接事以來。先づ順當に運んで居るは還覺着順手。人夫は多く使用してないは夫役不多差遣。幾らか増さうと思ふは要添招若干。性質よいものは性情和善。いろ／＼の道樂のないものは不染各種嗜好。應募しやうとる人は願意應募的人。私に替り相談してくれは替我接洽々々。給料の點は多く出して差支ありませんは工錢一層多給也行。お考の上お定め下さ

いは酌量替我定規罷。

(譯文)

招募役夫

我現在受了某公司的聘、擔任經理一席、專司墾荒事務。這裏荒地很多、不去開闢、豈不是遺利於地、萬分可惜麼。我接事以來、竭力進行、還覺着順手、因爲現在役夫不多差遣、所以要添招若干。貴處若有身體強壯、性情和善、不染各種嗜好、願意應募的人、請備替我接洽々々、再行送來。工錢一層多給也行、那也請備酌量替我定規罷。

第四十五章 女工募集

親戚の某君等が以前に某所で紡績工場を開いたのであるが、其所に使用する女工の多くは浮調子のもので名譽などを傷けないものはな

い。現在私が招聘されて支配人となつたので。規律を整へ、名譽を取り返す準備をして居る。從來雇用して居る女工を皆解備して、別に誠實な信用するに足るものを募集して交替させることに決定した。今まだ若干人の缺員があるが、貴方の土地に若し相當の女工が居つたなら、どうか私に代つて募集して下さい。給料は多分に出すも差支へない。唯募集する時は嚴重にして、仲間の者を害し、全體に累を及ぼさないのを願ひします。

「註解」紡績工場を開いたは開設織布廠 使用する女工は所用女工。大半は浮調子のものは多半は浮滑一流。名譽などは於名譽方面。ちつとも構はないは不無妨碍。規律を整へるは整頓規則。名譽を挽回するは挽回名譽。一偏に解備は一概辭歇。別に眞面目な信用す可き

ものを募るは另外招募誠實可靠的人。交替するは接替下去。缺員が若干は缺少若干。適當なのが居ればは若有合格、或は相當的。給料は多く出してよいは薪俸不妨從優。募集の際に嚴重にして戴きたいは招收務須從嚴か總得嚴重調査。多數を害ふ馬とならぬやうは以免害群之馬。全體に累を及ぼすは有累全體。

(譯文)

招募女工

舍親某君等、從前在某處開設織布廠所用女工、多半是浮滑一流、於名譽方面不無妨碍。現在招我擔任經理、豫備整頓規則挽回名譽。決定把從前雇用的女工、一概辭歇、另外招募誠實可靠的接替下去。現在還缺少若干、貴處若有合格的女工、請爾替我招募罷。薪俸不妨從優、是但招收務須從嚴以免害群之馬、有累全體。

第四十六章 汽船遭難

今世間では某汽船が上海から天津に到る途中、不意に某處で暗礁に乗りあげて船が沈没し、積んで居つた貨物も人も總て海にまき込まれて了つて、一として残つて居る者がないと傳へられて居る。併し時事新報にはかの汽船は暴風に遇ひ、船が波にまき込まれたが、幸ひにも救助宜しきを得て、人は總て救ひあげられたし、貨物も失はなかつたと言はれてあつて、此二つの消息は全然同じでない。要するにかの汽船の遭難の状況はどんなであつたのか、君は汽船會社の主務者でもあるから、確實なる事實を御存知であらう、どうか真相を私にお話し下さつて疑問を晴らして戴きたい。

〔註解〕世間に傳へられて居るは道路傳説。汽船は輪船又は火輪船。上海から天津へ行くは從上海到天津。暗礁に突き當るは遇着暗礁か碰了暗礁了。船が沈没したは船已覆沒。積んで居つた貨物も人もは所裝的貨物人口。皆海中にまき込まれて了つたは一總兒捲到海裏去。一として存在して居るものはないは沒有一個存留。暴風に遇ふたはれどもは雖遇大風。幸ひにも救助宜しきを得ては好在援救得法。人は大概救ひあげられたは人口大都撈得起來。失はなかつたは沒有失去。二つの消息が違ふは兩個消息全然不同。遭難の狀態がどうであるかは輪船遭險情形怎麼樣。屹度確實なことが分るは見聞必定確實。どうか其真相をお話し下さいは盼望把這個真相告訴我。疑問を晴らすは以免疑惑。

(譯文)

輪船遭險

現在道路傳說某輪船從上海到天津，忽然在某處遇着暗礁，船已覆沒，所裝的貨物人口一總兒捲到海裏去，沒有一個存留。但是時事新報上說，那輪船雖遇暴風，船已捲入波心，好在援救得法，人口大都撈得起來，貨物也沒有失去，兩個消息全然不同。究竟那隻輪船遭險情形怎麼樣，備是輪船局裏的執事，見聞必定確實，盼望把這個真相告訴，我以免疑惑咧。

第四十七章 鐵道運送

私のところは河が狹くて、この冬になつてからは久しく水が無くなり船が愈々通行しないので、貨物運送には甚だ困難である。以前貴方に頼んだ購入貨物は、最早や買入済みならば、汽船によらないやうにして

戴きたい。この貨物の利益は早く運送出来るからあるので、多くの時日を過したなら、商業上に損を來すのである。どうか貨物は某運送會社へ渡して、汽車で積み出すやうにして、一切の費用は代つてお支拂ひ置き下さい。其内お伺ひの上、金をお返し致しお禮をも申し上げます。

〔註解〕河が狹は河道窄小か或は狹小。久しく水が涸れたは久旱。船が愈々通行出来ないは船越發不能通行。貨物運送が甚だ困難であるは裝運貨物十分爲難。以前貴方にお頼みして購入して貰つた貨物は以前託備購辦的某貨。最早や買入済みは已經辦好。汽船で送付せないやうにして呉れは不必由輪船運來。早く運送して貰へば利益があるは利在早運。もし時日が多く経つは若是過了許多的日子。商業上に害があるは和營業有妨碍了。貨物を某運送會社へ渡すは把貨物

交某轉運公司。汽車で送つて來れは由火車運來。一切の費用は一切費用。私に代つて支拂つて置いて呉れは先替我支開。其内お伺ひするは不多幾天我要到爾那裏去。金をお拂ひするは交付各款。御面會の上お禮を申し上げますは當面謝爾。

(譯文)

火車裝運

敝處河道窄小、當此冬天久旱、船都越發不能通行、裝運貨物十分爲難。以前託爾購辦的貨物、若是已經辦好、不必由輪船運來。因爲這貨利在早運、若是過了許多的日子、就和營業有妨礙了。現在請把貨物交某轉運公司、由火車運來、一切費用先替我支開、不多幾天我要到爾那裏去、交付各款還要當面謝爾。

第四十八章 火災保險勸誘

昨晚五時頃君の所の某店から卒然失火して折り悪しく大風で、遂に十餘軒に延焼した。君のお宅へは波及しなかつたのは、全て御運が良かったのであるが、非常にお驚になつたことは、屹度免かれられなかつたでせう。想ふに火と云ふものは用捨が無いもので、若しあの日一緒に災難に遇はれたとしたら、いくら急いでも、どうして貴重品の品を全部運び出すことが出きやうか。安全を計る最善の方法は、財産を見積り豫め火災保険に這入つて置くことである。萬ヶ一に不測の變が起つても、又た頼む所があるから、少しも恐るゝ所がない。貴方はどうお考へですか。

〔註解〕突然に火事を出したは忽然失火了か走了水了。合憎大風では偏巧遇着大風。遂に十餘軒に延焼したは竟到延焼十幾家。波及せなかつたは還不到波及。總て御運は總是運氣。非常に驚いたは飽受虛驚。どうしても免れないは一定是不能免的了。火は情用捨のないものは火は無情的東西。若しあの日に一緒に災難に遇つたならば假使那一天同遭火災。いかに急いでもは那麼匆々忙々。どうして貴重品をすつかり運び出せやうかは怎麼能把貴重東西搬運一空呢。安全の方法を求めは要求安全的法子。財産を見積るは估量財産。豫め火災保険に這入るは豫先投保火險。萬ケ一は萬一。不測の變が起きてもは有不測の事。頼む所があるから恐るゝなしは有恃無恐。貴方のお考へはどうですかは備 爲好不好

(譯文)

勤保火險

昨天晚上五點鐘時候兒、爾的地方兒某舖子忽然失火了、偏巧遇着大風、竟到延燒十幾家了。爾家還不到波及、總是運氣、不過飽受虛驚、一定是不能免的了。我想火是无情的東西、假使那一天同遭火災、那麼匆々忙々、怎麼能把貴重東西搬運一空呢、要求安全的方法、最好的是估量財產、預先投保火險、萬一有不測的事、也可以有恃無恐、不知道爾以爲好不好。

第四十九章 生命保險

一昨日某保險會社の規約を貰つて見ました。始めてあの會社は資本も充分にあり、規約も確かであるから、信用も充分あり、營業が發展して居ることを知りました。その内の生命保險は、變私の賛成するも

のである。私は年配が四十そこ〜ですが、精神が既に衰へてきたやうに考へるので、今規約によつて生命保険に這入りたいと思ふ。貴方はあの會社の方とは皆よく知つて居られるから、どうか先づお相談下さつて、其上で私にお話下さい。

〔註解〕某保險會社規約は某保險公司的章程。見ましたは看了一遍。始めて知つたは纔知道。資本の充分は資本充足規約の確實は章程妥善か妥當。信用も充分あるは信用卓著。生命保険は保壽險。私が贊成をする所は我所贊成。年は四十そこ〜であるがは年紀雖不過四十歳。精神が既に衰へて來たやうだは精神、己經覺着衰敗。規約によりは按照章程。生命保険に加入するは投保壽險。よく知つて居るは熟懇の仲と云ふことで相熟的。どうか先づ相談してくれは請備先行

接洽。更に私に話して戴きたいは再來告訴我。
(譯文)

保壽險

前天接到某保險公司的章程、看了一遍、纔知道資本充足、章程妥善、所以信用卓著、營業發達、那裏頭保壽險一法尤爲我所贊成。我年紀雖不過四十歲、然而精神己經覺着衰敗、現在想按照章程投保壽險。備和那公司的辦事員。都是相熟的、請備先行接洽、再來告訴我罷。

第五十章 保險規定

私は某君と合辦で某店を開き、同心協力して經營して居るが商業はまあ都合がよい。唯此の店は人家稠密の所にあつて、大變に火災にかゝり易い。一昨日某君が火災保険に這入る事を主張したが、其考は確

に誤りがない。東京の保險會社のみでも其の數が大變に多く。信用のあるのも固より少くはないだらうが、かの内容の空虚なのに對しては又注意せねばならぬ。君は東京に既に十餘年間居られるから、この状態については定めしよく御存知であらう。どうかしつかりして居る會社を選択して、そこから私に代つて保險規約の一部貫つて戴きたい。すぐに送つて下さい。早速皆で相談して更に方法を定めやうと思ひますから。

「註解」合辦で某店を開くは合辦某店。同心協力は同心協力。商業もまあ都合よいは生意還好。人家稠密の所は人烟稠密的地方。火災にかゝり易いは容易發生火患。火災保險に加入することを主張するは主張投保火險。其考は誤りないは所見確是不錯。東京の保險會社許

りでは不過東京火險公司。その數が大變に多いは那數很多。信用のあるのも固より少くないは信用好的固然不少。かの内容の空虚なのは又注意しなくてはならないは那内容空虚的也不能不留心か不能不防。既に十年餘であるは已經有十年多了。この間の事情は定めしよく御存知のことであらうは對於個中情形定然明白或は熟悉。どうかしつかりして居る會社を選択して戴きたいは盼望爾揀最可靠的公司。其所から私に代り保險規定を請求してくれは向他替我索取保險章程。早く私に送つてくれは快々兒送給我。皆で相談し更に方法を立てるは大家商量再定辦法。

(譯文)

保險章程

我和某君合辦某店、同心協力、生意還好。但是這舖子正在人烟稠密的

地方很容易發生火患。前天某君主張投保火險，所見確是不錯。不過東京保險公司，那數很多，信用好的固然不少，那內容空虛的也不能不留心。備在東京已經有十年多了。對於個中情形，定然明白。盼望備揀最可靠的，公司向他替我索取保險章程一分。快夕兒送給我，以便大家商量，再定辦法。

和文支那譯研究 完

大正十一年九月十一日印刷
大正十一年九月十五日發行

和文支那譯研究
定價壹圓五拾錢

著者 米田祐太郎

發行者 濱井松之助
東京市日本橋區數寄屋町

印刷者 佐藤三郎
東京市本町區品川五丁目



發兌

東京市日本橋區數寄屋町
大阪屋號書店

振替東京一三七五番
電話本局四二八九番

岡本正文先生 閱

支那語文法研究

金壹圓五拾錢
書留送十五錢

關東都督府通譯
渡會貞輔氏著

支那語叢談

金壹圓五拾錢
書留送十三錢

錫 藝氏題

支那人日華會話入門

定價金七拾錢
書留送十一錢

本 田 良 平氏著

支那人日華會話入門

定價金七拾錢
書留送十一錢

富 山 誠 一氏著

記憶するに易く
實用に適する
日滿會話

定價金五拾錢
書留送十一錢

本 田 清 人氏著

北京官話
實用支那語教本

定價金九拾錢
書留送十三錢

李 長 春氏 閱

新々支那語會話

定價金九拾錢
書留送十一錢

石 橋 梅 吉氏著

新々支那語會話

定價金九拾錢
書留送十一錢

金 允 植氏題

朝鮮語の先生

金壹圓五拾錢
書留送十三錢

崔 在 翔氏著

朝鮮語の先生

金壹圓五拾錢
書留送十三錢

323
439

終